



相続税の申告書 第1表

年 月 日 提出			相 続 開 始		元 号		年		月		日		修正申告の場合、右に「1」と記入します。			G01									
提 出 先		F01	税 務 署 長		年 月 日		N01																		
(単位：円)												※申告期限延長日		年 月 日											
			被相続人						財産を取得した人																
フリガナ		参考記載の場合「1」と記入		E01							E05														
氏名				E02							E06														
個人番号又は法人番号											G31														
生年月日・年齢			元 号		年		月		日		年 齢		元 号		年		月		日		年 齢				
			N02									G02			N03							G32			
郵便番号											P01						—								
住所			E03									E07													
電話番号											T01						—		—						
被相続人との続柄		職業						E04			G33						E08								
取得原因 (該当するものに「1」と記入)											相続		G34			遺贈		G35			相続時精算課税に係る贈与		G36		
			各人の合計								財産を取得した人														
課税価格の計算	取得財産の価額 (第11表2③)		①	G03							G37														
	相続時精算課税適用財産の価額 (第11の2表1⑦)		②	G04							G38														
	債務及び葬式費用の金額 (第13表3⑦)		③	G05							G39														
	純資産価額 (①+②-③) (赤字のときは0)		④	G06							G40														
	純資産価額に加算される暦年課税分の贈与財産価額 (第14表1④)		⑤	G07							G41														
	課税価格 (④+⑤) (1,000円未満切捨て)		⑥	Ⓐ	G08					000		G42	000												
各人の算出税額の計算	法定相続人の数 (人)		遺産に係る基礎控除額		G09			Ⓑ	G10	000,000		左の欄には、第2表の②欄の㊸の人数及び㊹の金額を記入します。													
	相続税の総額		⑦	G11							左の欄には、第2表の⑧欄の金額を記入します。														
	一般の場合 (⑩の場合を除く)	あん分割合 (各人の⑥/Ⓐ)		⑧	1.00						C01														
		算出税額 (⑦×各人の⑧)		⑨	G12							G43													
	農地等納税猶予の適用を受ける場合		算出税額 (第3表⑬)		⑩	G13							G44												
各人の納付・還付税額の計算	相続税額の2割加算が行われる場合の加算金額 (第4表⑦)		⑪	G14							G45														
	税額控除	暦年課税分の贈与税額控除額 (第4表の2㉔)		⑫	G15							G46													
		配偶者の税額軽減額 (第5表㊿又は㊻)		⑬	G16							G47													
		⑫・⑬以外の税額控除額 (第8の8表1⑤)		⑭	G17							G48													
		計		⑮	G18							G49													
	差引税額 (⑨+⑪-⑮)又は(⑩+⑪-⑮) (赤字のときは0)		⑯	G19							G50														
	相続時精算課税分の贈与税額控除額 (第11の2表1⑧)		⑰	G20					00		G51	00													
	医療法人持分税額控除額 (第8の4表2B)		⑱	G21							G52														
	小計 (⑯-⑰-⑱) (黒字のときは100円未満切捨て)		⑲	G22							G53														
	納税猶予税額 (第8の8表2⑧)		⑳	G23					00		G54	00													
	申告納税額 (⑲-㉑)	申告期限までに納付すべき税額		㉑	G24					00		G55	00												
還付される税額		㉒	G25							G56															
この申告書が修正申告書である場合	小計		㉓	G26							G57														
	納税猶予税額		㉔	G27					00		G58	00													
	申告納税額 (還付の場合は、頭に△を記載)		㉕	G28							G59														
	小計の増加額 (⑲-㉓)		㉖	G29							G60														
	この申告により納付すべき税額又は還付される税額 (還付の場合は、頭に△を記載) ((㉑又は㉒)-㉕)		㉗	G30							G61														
税理士署名		R01	電話番号 (税理士)		R02	—		—		税理士法 書面提出		30条		G62			33条の2		G63						
この申告が修正申告である場合の異動の内容等			E09									通信日付印の年月日		F12			(西暦)年 月 日								

(注) 1 ⑱欄の金額が赤字となる場合は、⑱欄の頭に△を付してください。なお、この場合で、⑱欄の金額のうちに贈与税の外国税額控除額(第11の2表1⑨)があるときの㉒欄の金額については、「相続税の申告のしかた」を参照してください。

2 税理士の方が、税理士法第30条、第33条の2に規定する書面を作成し、申告書と併せて提出される場合には、該当する項目に「1」と記入してください。